

# 2021 年度名古屋大学 融合フロンティアフェロウシップ 募集要項

○募集対象年次（2021 年 4 月 1 日時点）

博士後期課程	2021 年 4 月博士 1 年次在籍者 2021 年 10 月入学・進学予定者
医学博士課程	2021 年 4 月博士 2 年次在籍者 2021 年 10 月博士 2 年次になる者

\*上記以外の詳細は、4. 申請資格をご参照ください

## 2021年度名古屋大学融合フロンティアフェローシップ募集要項

### 1. 趣旨

名古屋大学（以下「本学」という。）は、「融合領域を開拓し、未来の知の創出や社会実装を担い、グローバルに活躍できる博士人材」の育成を目指しています。

「名古屋大学融合フロンティアフェローシップ」（以下「本フェローシップ」という。）は、本学博士課程に進む学生が、博士後期課程3年間を通じて、深い学識と卓越した能力を身につけ、その経験で培った様々な力を、博士学位取得後に、社会の多様な場で発揮していただきたいという思いのもと作られた、**研究と生活を両面からサポート**する制度です。

この制度を通じて、輩出する博士人材が、我が国の継続的な学術の深化や、次世代の科学技術・イノベーションの創出を担い、活力ある社会の構築に寄与することを期待するものです。

本制度は、文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」と名古屋大学により実施されるものです。

### 2. 申請対象分野（4分野）

4分野あります。分野ごとに目的とする育成人材像が異なります。（別表1を参照）

I：アジア未来創造分野， II：情報・AI分野， III：量子科学分野， IV：マテリアル分野

#### 留意事項

- ・各分野で申請可能な研究科・専攻が決まっております。（別表2をご参照ください。）
- ・1学生1分野のみ申請可能です。複数分野への申請はできません。

### 3. 採用予定人数

アジア未来創造分野	26名
情報・AI分野	26名
量子科学分野	12名
マテリアル分野	13名

### 4. 申請資格

本フェローシップに申請できる者は、次の(1)～(3) いずれにも該当する者（外国人を含む）とします。

**○博士後期課程 2021年4月博士1年次在籍者**

**○医学博士課程 2021年4月博士2年次在籍者**

(1) 在籍条件

2021年4月に本学博士後期課程1年次（医学博士課程は2年次）に在籍する者で、2021年4月1日において30歳未満（医学博士課程で臨床研修<sup>注1</sup>を課された者は33歳未満）である者

(2) 所属機関の指導教員、または後期課程の指導予定教員等が推薦する者

(3) 2021年4月1日時点で以下のいずれにも該当しない者

- ① 社会人学生<sup>注2</sup>
- ② 国費外国人留学生制度による奨学金を受ける留学生<sup>注3</sup>
- ③ 母国からの奨学金等の支援を受ける留学生<sup>注3</sup>
- ④ 日本学術振興会の特別研究員<sup>注3</sup>

**○博士後期課程 2021年10月入学進学予定者**

**○医学博士課程 2021年10月に博士2年次になる者**

(1) 在籍条件

本学博士後期課程に入学進学を希望する者（医学博士課程については1年次に在籍する者）で、2021年10月に本学博士後期課程1年次に在籍する（医学博士課程2年次になる）2021年4月1日において30歳未満（医学博士課程で臨床研修<sup>注1</sup>を課された者は33歳未満）である者。

(2) 所属機関の指導教員、または後期課程の指導予定教員等が推薦する者

(3) 博士後期課程入学時（医学博士課程については2年次になる時）に以下のいずれにも該当しない者

- ① 社会人学生<sup>注2</sup>
- ② 国費外国人留学生制度による奨学金を受ける留学生<sup>注3</sup>
- ③ 母国からの奨学金等の支援を受ける留学生<sup>注3</sup>
- ④ 日本学術振興会の特別研究員<sup>注3</sup>

・注1：医師法第16条の2に定める研修

・注2：文部科学省が定める「社会人」の定義は、以下のとおりです。

・注3：②～④の制度に申請予定の者でも、当制度の応募は可能です。但し、本フェロースhip奨励金受給開始時に、申請資格を満たしていない場合は、名古屋大学融合フロンティアフェロー（以下「フェロー」という）もしくは、フェロー予定者となることはできません。

学校基本調査における「博士課程入学者」のうち「社会人」として扱われる者

具体例は以下のとおり

- ①職に就いている者（給料，賃金，報酬，その他経常的な収入を得る仕事に現についている者）
- ②給料，賃金，報酬，その他経常的な収入を得る仕事から既に退職した者
- ③主婦・主夫を指します。

【注意】以下の場合は社会人学生となります。

- ・学部卒、もしくは修士卒で一度社会人となり、新たに博士後期課程に入学・進学した者
- ・医学部卒で、その後医師法・歯科医師法で定められている臨床研修期間以外の研修期間、社会人経験がある者。

## 5. フェローシップ奨励金（以下「奨励金」という）

フェローには、以下の奨励金が支給されます。

### (1) 研究専念支援金 月額 16 万円

研究専念支援金は、原則毎月末までに、本人の口座に振り込まれます（2021 年 4 月～6 月分は 2021 年 6 月末振込予定）。当所得は、雑所得となりますので、毎年確定申告<sup>注</sup>の手続きが必要となります。

注：留学生は、租税条約の手続きを行うことにより確定申告が不要になる場合があります。

### (2) 研究費 年額 25 万円

本学にて研究費を管理いたします。本学の会計手続きに従い、研究計画に沿った支出を行っていただきます。

## 6. 支給期間

奨励金の支給期間は、3 年間<sup>注</sup>です。

注：博士後期課程 2020 年 10 月入学者と、医学博士課程 2019 年 10 月入学者は 2 年 6 ヶ月。

（ただし、支給中断・停止要件に該当した場合は、支給期間が短くなる場合があります。）

## 7. 申請書類（様式 1~3 を結合して PDF 形式のファイルにて提出）

- (1) 名古屋大学融合フロンティアフェローシップ申請書（様式 1）
- (2) 研究概要等（様式 2）
- (3) 指導教員等推薦書（様式 3）

8. 申請手続（詳細は、別紙の申請方法のマニュアルを参照してください。）

申請は、以下の手順で実施いたします。

- (1) 申請事前登録フォームへの登録処理（申請者の情報登録のみ。ここでは申請書の提出は行いません。）**締切りを延長しました。**

~~申請事前登録期間 2021年3月26日（金）～2021年4月12日（月）正午~~

**申請事前登録期間 2021年3月26日（金）～2021年4月16日（金）14:00**

- ・申請事前登録フォームの URL は以下のとおりです。

学内申請者（名古屋大学に在籍し、名古屋大学 ID が発行されている者）

URL : [https://dec.nagoya-u.ac.jp/inquiry/application\\_form1](https://dec.nagoya-u.ac.jp/inquiry/application_form1)



\*2021年4月入学予定で、2021年4月に名古屋大学 ID が発行される方も、学内申請者登録フォームから登録願います。

学外申請者（学内申請者以外の者）

URL : [https://dec.nagoya-u.ac.jp/inquiry/application\\_form2](https://dec.nagoya-u.ac.jp/inquiry/application_form2)



- ・申請事前登録フォームに必要事項を記載の上、申請をしてください。

なお、受付期間を過ぎた場合は、いかなる事情があっても受付はいたしませんので、ご留意願います。

**留意事項**

- ・申請事前登録フォームは、申請番号の発行を受けるために**必須の手続き**となりますので、必ず期日までに行ってください。

- (2) 申請書の提出について

~~提出期間 2021年4月5日（月）～2021年4月16日（金）正午~~

**提出期間 2021年4月5日（月）～2021年4月19日（月）14:00**

- ① 学内申請者（名古屋大学に在籍し、名古屋大学 ID が発行されている者）

**申請書類を NUCT (Nagoya University Collaboration and course Tools) 使用して提出**

- ・(1)の申請を行った者については、登録後1～2日（登録日が土日祝日の場合は、翌平日）程度で、NUCT上に申請分野のサイト情報が表示されます。申請者は、サイトまたは博士課程教育推進機構 HP から申請書類のダウンロードを行い、申請

書類を作成し、NUCTの申請分野サイトの課題提出機能を使用し、**2021年4月16日(金)正午 19日(月)14:00**までに提出をしてください。

② 学外申請者（学内申請者以外の者）

**申請書類を電子メールにて送付**

・(1)の申請を行った者については、登録後1～2日（登録日が土日祝日の場合は翌平日）程度で、登録先メールアドレスに申請番号を通知いたします。申請者は、博士課程教育推進機構HPから申請書類のダウンロードを行い、申請書類を作成し、以下の電子メールアドレス宛に**2021年4月16日(金)正午19日(月)14:00**までに提出をしてください。（受付時間は、本学のメールサーバの受信時間で判断しますのでご留意願います）

申請書類を提出された方には、書類受理后1～2日（登録日が土日祝日の場合は、翌平日）の確認メールを返信します。返信がない場合は、以下のメールアドレスに確認をお願いいたします。

○送付先 nu-fellowship2@adm.nagoya-u.ac.jp

「nu-fellowship」ではありませんのでご注意ください

9. 選考及び結果について

(1) 選考

第1次審査（書類選考）及び第2次審査（面接選考）を実施いたします。第2次審査（面接選考）は、第1次審査（書類選考）通過者を対象として実施致します。第2次審査（面接選考）対象者には2021年5月中旬ごろに通知いたします。第2次審査予定日は、以下になります。あらかじめご予定ください。

**留意事項**

・第2次審査（面接選考）を以下の日時で実施いたします。なお、日時指定に関する希望は一切応じることができません。

**面接選考日 5月20日(木) 21日(金) 各日 9:00～18:00**

(2) 審査方針

評価項目は、以下のとおりとし、個々の要素を踏まえて評価を行います。また、各分野の審査基準は別表1をご参照ください。

① 本フェローシップ制度の目的を理解し、主体的に取り組みに参加し、積極的に異分

野の学生や研究者と交流を持つ意欲があること。

- ② 将来を担う優れた博士人材となることが十分に期待できること。
- ③ 研究方法が独創的で、3年間の研究課題設定が適切になされていること。
- ④ 博士号取得後のキャリアと3年間で培う能力等を明確に自覚していること。

### (3) 結果通知

合格者に対して、以下のとおり通知を行います。合格者以外への通知は行いません。

**結果通知日 5月31日(月)**

### ○通知方法

- |                                                                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・学内申請者（名古屋大学に在籍し、名古屋大学IDが発行されている者）<br>名古屋大学ポータル（NUPortal： <a href="https://portal.nagoya-u.ac.jp/">https://portal.nagoya-u.ac.jp/</a> ）に通知。 |
| ・学外申請者（学内申請者以外の者）<br>申請時に登録していただいた電子メールアドレス宛に通知。                                                                                            |

## 10. フェローの義務

フェローには、以下の義務が課されます。

- (1) 当該年度の研究に関する報告書及び次年度以降の研究活動計画書の提出。
- (2) 指導教員等との面談。
- (3) 日本学術振興会特別研究員事業への応募。
- (4) 対象分野が認定する講義，研修，セミナー等への参加。別表1を参照。
- (5) 本学が指定する公的資金の使用に係る研修，研究倫理教育の受講。
- (6) 義務の実施状況について，指定されたシステムへのデータ登録。
- (7) フェローシップ期間終了後の調査への協力。
- (8) その他本学が必要と定めた事項。

## 11. 奨励金支給の停止

次のいずれかに該当する場合は、奨励金の支給を停止します。

- (1) 退学，除籍又は転学したとき。
- (2) 停学の処分を受けたとき。
- (3) 学業成績が不良となったとき。
- (4) 年度毎の研究成果の報告を怠ったとき。
- (5) 奨励金を必要としない理由が生じたとき。
- (6) 申請資格の(3)の①～④に該当したとき。
- (7) (1)～(6)のほか，フェローとして適当でない事実があったとき。

## 12. 奨励金の返還

支給中断，停止の事由により，受給資格がないにもかかわらず支給を受けた奨励金があるときは，その支給を受けた金額のうち受給資格がないものとされる部分の金額を本学に返還することになります。

## 13. フェローシップ期間終了後の調査への協力義務

当制度は，文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」の補助の下に実施するため，終了時から10年程度，就職等の現況調査等を行う可能性がありますのでご承知ください。

フェローシップ期間終了後であっても連絡することがあるため，連絡先の住所，就職先，Eメールアドレス等が変更になった場合は，本学担当先（博士課程教育推進機構）へ必ずご連絡願います。

以上

「融合フロンティアフェローシップ」に関する問合せ先  
博士課程教育推進機構  
教育推進部教育企画課

問合せ専用フォーム

<https://dec.nagoya-u.ac.jp/inquiry/top>





	アジア未来創造分野	情報・AI分野	量子科学分野	マテリアル分野	
フェローシップ事業の目的・育成する研究者像	アジア諸国との共生を志向し、SDGsへの貢献と豊かで活力ある社会の構築を目指す学生に対して、融合領域の研究教育に関わる機会やプログラムを提供することにより、国内外との共同研究を通じ、未来の知的継続的創出や社会実装を担うグローバル博士人材を育成する。	モビリティ分野、創薬・医療・個別化予防、基礎医学など医学分野を中心に、人文社会学、理学、数理学、農学など広い分野を支え、牽引し、発展させる、未来の知的継続的創出や社会実装を担い、グローバルに活躍する情報・AI博士人材を育てることを目的とする。	量子科学分野の対象となる数学・理学などの量子基礎学から、半導体等を用いた量子デバイス応用までの幅広い研究階層に対し、階層間を融合した学術研究を切り拓き、グローバルに活躍する卓越した博士人材を育てることを目的とする。	我が国のマテリアル革新の原動力となる人材育成を目的とする。 電気電子・機械・情報・エネルギー・生物・医療・農業などの多分野とマテリアル科学の融合領域を開拓し、基礎学から応用に至る上流から下流までを俯瞰的に捉えて革新的プロダクトを生み出すために必要な研究力を有して、自身のキャリアを切り拓ける卓越した博士人材を育成する。	
審査基準	(1)本フェローシップ制度の目的を理解し、主体的に取り組みに参加し、積極的に異分野の学生や研究者と交流を持つ意欲があること。 (2)将来を担う優れた博士人材となることが十分に期待できること (3)研究方法が独創的で、3年間の研究課題設定が適切になされていること (4)博士号取得後のキャリアと3年間で培う能力等を明確に自覚していること (5)アジア諸国との共生など、アジアと関連づけた発展を志向し、融合領域研究に取り組む意識が高いこと	(5) 情報・AI分野、モビリティ分野、創薬・医療・個別化予防、基礎医学など医学分野を中心に、人文社会学、理学、数理学、農学など広い分野において、情報・AI技術を利用する研究計画を立案し、研究を遂行する強い意志を有していること。	(5)量子科学分野の対象となる基礎学から応用研究まで幅広い階層を融合した学術研究に参画する意思を持つこと。上記へつながる取り組みやプログラム受講等の経験があればより好ましい。	(5) マテリアル革新を志す融合研究の実施に向けた強い意志を持ち、研究の社会的意義を明確化できること	
全分野共通の講義・研修・セミナー等【必修】	【1】企業関係者等外部の関係者を招いた大学主催の研究発表会(D1、D2の内一回以上参加)				
対象分野の講義・研修・セミナー等【必修】		【1】研究科や卓越大学院プログラムが用意するプログラミング科目	【1】部局横断的な共同研究を創出する大学主催の研究発表会		
対象分野が認定する講義・研修・セミナー等【選択必修】 (フェローポイント*: FP)	アジア未来創造	情報・AI分野	量子科学	マテリアル	
	※以下より各自選択して、大学院在学中(フェロー終了まで)で30FP以上最大FP以上の受講が必要。 最大FP:最大FP以上のコマ数を受講しても良いが、合計FPとしては最大FP数しかカウントはされないことを意味する。	※以下より各自選択して、大学院在学中(フェロー終了まで)で30FP以上最大FP以上の受講が必要。 最大FP:最大FP以上のコマ数を受講しても良いが、合計FPとしては最大FP数しかカウントはされないことを意味する。	※以下より各自選択して、大学院在学中(フェロー終了まで)で30FP以上最大FP以上の受講が必要。 最大FP:最大FP以上のコマ数を受講しても良いが、合計FPとしては最大FP数しかカウントはされないことを意味する。	※以下より各自選択して、大学院在学中(フェロー終了まで)で30FP以上最大FP以上の受講が必要。 最大FP:最大FP以上のコマ数を受講しても良いが、合計FPとしては最大FP数しかカウントはされないことを意味する。	
	セミナー等	【1】トランスファラブルスキル・語学研修・キャリアパスセミナー・異分野研究セミナー・院生企画セミナー等の受講 6 FP	【1】トランスファラブルスキル・語学研修・キャリアパスセミナー・異分野研究セミナー・院生企画セミナー等の受講 8 FP	【1】トランスファラブルスキル・語学研修・キャリアパスセミナー・異分野研究セミナー・院生企画セミナー等の受講 6 FP	【1】トランスファラブルスキル・語学研修・キャリアパスセミナー・異分野研究セミナー・院生企画セミナー等の受講 9 FP
	インターンシップ	【2】インターンシップなど(国内外の、企業・国際機関・研究機関等でのインターンシップなど) 24FP	【2】インターンシップなど(国内外の、企業・国際機関・研究機関等でのインターンシップなど) 24FP	【2】インターンシップなど(国内外の、企業・国際機関・研究機関等でのインターンシップなど) 24FP	【2】インターンシップなど(国内外の、企業・国際機関・研究機関等でのインターンシップなど) 24FP
	海外留学等	【3】海外研究渡航(研修・短期留学) 8 FP	【3】海外研究渡航(研修・短期留学) 8 FP	【3】海外研究渡航(研修・短期留学) 12FP	【3】海外研究渡航(研修・短期留学) 12FP
	研究発表・賞等	【4】国際会議・国際学会発表 6 FP	【4】国際会議・国際学会発表 国際誌論文発表 6 FP	【4】国際会議・国際学会発表 6 FP	【4】国際会議・国際学会発表 研究賞の獲得 6 FP
	学生チーム経験	【5】学生チーム企画(院生企画セミナー企画、起業、ビジネスコンテスト出場など) 8 FP	【5】学生チーム企画(院生企画セミナー企画、起業、ビジネスコンテスト出場など) 8 FP	【5】学生チーム企画(院生企画セミナー企画、起業、ビジネスコンテスト出場など) 8 FP	【5】学生チーム企画(院生企画セミナー企画、起業、ビジネスコンテスト出場など) 8 FP
	共同研究・融合研究等	【6】共同研究・融合研究等の実施(研究費の共同申請)、産学協同講座や指定共同研究等への参画(指導教員と相談し実施) 24FP	【6】共同研究・融合研究等の実施(研究費の共同申請)、産学協同講座や指定共同研究等への参画(指導教員と相談し実施) 24FP	【6】共同研究・融合研究等の実施(研究費の共同申請)、産学協同講座や指定共同研究等への参画(指導教員と相談し実施) 24FP	【6】共同研究・融合研究等の実施(研究費の共同申請)、産学協同講座や指定共同研究等への参画(指導教員と相談し実施) 24FP
短期ワークショップ(リトリート研修等)参加	【7】社会課題発見・異分野融合研修等の短期ワークショップに参加 8 FP	【7】社会課題発見・異分野融合研修等の短期ワークショップに参加 8 FP	【7】社会課題発見・異分野融合研修等の短期ワークショップに参加 12FP	【7】社会課題発見・異分野融合研修等の短期ワークショップに参加 12FP	

\*各研究科・専攻・卓越大学院・リーディングプログラム等は、大学院生対象に各種の企画を用意しています。融合フロンティアフェローシップ実施委員会は、「対象分野が認定する講義・研修・セミナー等」について認定したものに、大学フェローシップのフェローポイント(FP)を付与します。各フェローは、所属する領域の専門分科会の指示に従って、フェローシップ期間中に30FP以上を取得します。

・詳細につきましては、今後博士課程教育推進機構HP等で案内をしていく予定です。

## 【別表2】 名古屋大学融合フロンティアフェローシップ申請可能分野一覧表（研究科・専攻）

\* 応募可能な申請分野を確認してください。（1学生1分野のみ申請可能）

区分	研究科	専攻	アジア未来創造 分野 26名	情報・AI分野 26名	量子分野 12名	マテリアル分野 13名
博士 後期 課程	人文学研究科	人文学専攻	○	○		
	教育発達科学研究科	教育科学専攻	○	○		
		心理発達科学専攻	○	○		
	法学研究科	総合法政専攻	○	○		
		実務法曹養成専攻				
	経済学研究科	社会経済システム専攻	○	○		
		産業経営システム専攻	○	○		
	情報学研究科	数理情報学専攻	○	○	○	
		複雑系科学専攻	○	○	○	○
		社会情報学専攻	○	○		
		心理・認知科学専攻	○	○		
		情報システム学専攻	○	○		
	理学研究科	知能システム学専攻	○	○		○
		素粒子宇宙物理学専攻		○	○	○
		物質理学専攻		○	○	○
		生命理学専攻		○		○
	工学研究科	名古屋大学・エディンバラ大学国際連 携理学専攻		○	○	○
		有機・高分子化学専攻			○	○
		応用物質化学専攻			○	○
		生命分子工学専攻		○	○	○
		応用物理学専攻		○	○	○
		物質科学専攻		○	○	○
		材料デザイン工学専攻		○		○
		物質プロセス工学専攻		○	○	○
		化学システム工学専攻		○		○
		電気工学専攻		○	○	○
		電子工学専攻		○	○	○
		情報・通信工学専攻		○	○	○
		機械システム工学専攻		○	○	○
		マイクロ・ナノ機械理工学専攻		○	○	○
		航空宇宙工学専攻		○	○	○
		エネルギー理工学専攻		○	○	○
		総合エネルギー工学専攻		○	○	○
	土木工学専攻	○	○		○	
	生命農学研究科	森林・環境資源科学専攻	○	○		○
		植物生産科学専攻	○	○		○
		動物科学専攻	○	○		○
		応用生命科学専攻	○	○		○
		名古屋大学・カセサート大学国際連 携生命農学専攻	○			○
	名古屋大学・西オーストラリア大学国 際連携生命農学専攻	○			○	
	国際開発研究科	国際開発協力専攻	○	○		
	多元数理科学研究科	多元数理科学専攻		○	○	
	環境学研究科	地球環境科学専攻	○	○		○
		都市環境学専攻	○	○		○
		社会環境学専攻	○	○		
	医学系研究科	総合保健学専攻	○	○		
	創薬科学研究科	基盤創薬学専攻		○		○
医学 博士 課程	医学系研究科	総合医学専攻	○	○		
		名古屋大学・アデレード大学国際連 携総合医学専攻	○	○		
		名古屋大学・ルンド大学国際連携総 合医学専攻	○	○		
		名古屋大学・フライブルク大学国際連 携総合医学専攻	○	○		

## 2021 年度名古屋大学融合フロンティアフェロー申請書(4 月入学進学者用)【様式 1】

(\*博士後期課程 2020 年 10 月入学者、医学博士課程 2019 年 10 月入学者も、当様式を使用してください)

- ・ 募集対象、申請分野ごとに設定されている研究科・専攻を確認の上、申請を行ってください。

募集対象 (2021 年 4 月時点)

区分	年次	年齢(2021 年 4 月 1 日時点)
博士後期課程	1 年次在籍者	30 歳未満 (但し臨床研修を課された医学博士課程の在籍者は 33 歳未満)
医学博士課程	2 年次在籍者	

申請分野 *対象研究科・専攻は別紙にて確認	申請分野にチェックを入れてください(1 学生 1 分野のみ) <input type="checkbox"/> アジア未来創造 <input type="checkbox"/> 情報・AI <input type="checkbox"/> 量子科学 <input type="checkbox"/> マテリアル		
申請番号 *10桁(英字1桁+数字9桁)			
入学年次	該当する入学年次にチェックを入れてください 博士後期課程 <input type="checkbox"/> 2020 年 10 月入学・進学者 <input type="checkbox"/> 2021 年 4 月入学・進学者 医学博士課程 <input type="checkbox"/> 2019 年 10 月入学・進学者 <input type="checkbox"/> 2020 年 4 月入学・進学者		
氏名	年齢		
	生年月日		
所属	研究科	専攻	
学生番号	*申請時に把握している学生番号を記入してください		
在籍区分	<input type="checkbox"/> 在学 <input type="checkbox"/> 休学 <input type="checkbox"/> 留学 ( 年 月 ) <=休学または留学を選択した場合は、復学予定年月を記入してください。		
連絡先	携帯番号		
	メールアドレス		
卓越大学院プログラム 博士リーディングプログラム、その他プログラム等の在籍状況 (該当者のみ)	現在、または過去に在籍した卓越大学院、リーディング、その他プログラムがある学生は該当箇所にチェックを入れてください。 <input type="checkbox"/> 卓越プログラム <input type="checkbox"/> GTR <input type="checkbox"/> DII <input type="checkbox"/> CIBoG <input type="checkbox"/> TMI <input type="checkbox"/> リーディングプログラム <input type="checkbox"/> フロンティア宇宙 <input type="checkbox"/> PhD 登龍門 <input type="checkbox"/> 実世界 <input type="checkbox"/> ウェルビーイング <input type="checkbox"/> その他( )プログラム名を記載してください。		
奨学金等受給状況 (2021 年 4 月 1 日現在)	下記、いずれも受給していない <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ (いいえの場合は、当フェローの申請ができません。) ・日本学術振興会の特別研究員(DC1)・国費外国人留学生制度・母国からの奨学金を受給 ・その他奨励金(当フェロー制度と併給できないもの)		
社会人学生該当の有無 (2021 年 4 月 1 日現在)	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ (はいの場合は、当フェローの申請ができません。)		

## 2021年度名古屋大学融合フロンティアフェロー申請書(10月入学進学者用)【様式1】

(注意！\*博士後期課程2020年10月入学者、医学博士課程2019年10月入学者は、4月入学進学用を使用してください)

・募集対象、申請分野ごとに設定されている研究科・専攻を確認の上、申請を行ってください。

募集対象 (2021年10月時点)

区分	年次	年齢(2021年4月1日時点)
博士後期課程	2021年10月入学進学予定者	30歳未満 (但し臨床研修を課された医学課程の在籍者は33歳未満)
医学博士課程	2021年10月に2年次になる者	

申請分野 *応募対象研究科・専攻は別紙にて確認	申請する分野にチェックを入れてください(1学生1分野) <input type="checkbox"/> アジア未来創造 <input type="checkbox"/> 情報・AI <input type="checkbox"/> 量子科学 <input type="checkbox"/> マテリアル		
申請番号 *10桁(英字1桁+数字9桁)			
氏名	年齢		
	生年月日		
所属 (他機関申請者は、大学名から記載)	大学	研究科	専攻
学年(2021年4月1日現在)	<input type="checkbox"/> 博士前期課程 年	<input type="checkbox"/> 医学博士課程 年	
	<input type="checkbox"/> 修士課程 年	<input type="checkbox"/> その他( )	
学生番号(本学在籍学生のみ)	*申請時に保持している学生番号を記入してください		
在籍区分	<input type="checkbox"/> 在学 <input type="checkbox"/> 休学 <input type="checkbox"/> 留学 ( 年 月 ) <=休学または留学を選択した場合は、復学予定年月を記入してください。		
連絡先	携帯番号		
	メールアドレス		
卓越大学院プログラム 博士リーディングプログラム、その他プログラム等の在籍状況 (本学在籍該当者のみ)	現在、または過去に在籍した卓越大学院、リーディング、その他プログラムがある学生は該当箇所にチェックを入れてください。 <input type="checkbox"/> 卓越プログラム <input type="checkbox"/> GTR <input type="checkbox"/> DII <input type="checkbox"/> CIBoG <input type="checkbox"/> TMI <input type="checkbox"/> リーディングプログラム <input type="checkbox"/> フロンティア宇宙 <input type="checkbox"/> PhD 登龍門 <input type="checkbox"/> 実世界 <input type="checkbox"/> ウェルビーイング <input type="checkbox"/> その他( )プログラム名を記載してください。		
博士後期課程入学予定年月(西暦記入) (医学博士課程は入学年月を記入)	年	月	
入学予定研究科専攻名 (医学博士課程は記入不要)	研究科	専攻	

## 2021 年度名古屋大学融合フロンティアフェロー研究概要等【様式 2-A】

【研究題名】

【研究計画】(図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。なお、本項目は **1 頁** に収めてください。様式の変更・追加は不可(以下同様))

(1) 研究の位置づけ

博士後期課程(医学博士課程)3年間で取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。

## 2021 年度名古屋大学融合フロンティアフェロー研究概要等【様式 2-B】

【研究計画】(図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。なお、本項目は **2 頁** に収めてください。様式の変更・追加は不可(以下同様))

(2) 研究目的・内容等

- ① 研究目的、研究方法、研究内容について記述してください。
- ② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。
- ③ 研究の特色・独創的な点(先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等)にも触れて記入してください。
- ④ 所属研究室の研究活動との関連において、提案者が担当する部分を明らかにしてください。
- ⑤ 研究計画の期間中に異なる研究機関(外国の研究機関等を含む)において研究に従事することも計画している場合は、具体的に記入してください。

## 2021 年度名古屋大学融合フロンティアフェロー研究概要等【様式 2-C】

【研究遂行力等の自己分析】※各事項の字数制限はありませんが、全体で **1 頁** に収めてください。  
本申請書記載の研究計画を含め、当該分野における「自身の強み」について、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、具体的に記入してください。特に、名古屋大学融合フロンティアフェローシップでは、融合フロンティアを拓き未来の知の継続的創出や社会実装を担い、グローバルに活躍する博士人材の育成を目指しています。その目的に関して、すでにこれまでの活動経験から得た能力等があればこの欄に記載ください。

## 2021 年度名古屋大学融合フロンティアフェロー研究概要等【様式 2-D】

【目指す研究者像等】※各事項の字数制限はありませんが、全体で **1 頁** に収めてください。  
名古屋大学融合フロンティアフェローシップでは、融合フロンティアを拓き未来の知の継続的創出や社会実装を担い、グローバルに活躍する博士人材の育成を目指しています。この目的に鑑み、(1)「目指す研究者像」と「博士号取得後のキャリアパス」(2)「キャリアパス実現のため必要と考えている要素」と「実施予定をしている活動や経験」を記入してください。募集要項の別表の「目的・育成する研究者像」「指定する講義、研修、セミナー等」も参考に記載ください。



## 2021 年度名古屋大学融合フロンティアフェロー指導教員等推薦書【様式 3】

<p>本項目は 1 頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。 名古屋大学融合フロンティアフェローシップでは、融合フロンティアを拓き未来の知の継続的創出や社会実装を担い、グローバルに活躍する博士人材の育成を目指しています。 申請者が 3 年間で本フェローの目的を達成し、学位取得後に社会で活躍できる人材であろうということをよく理解している人が作成ください。博士後期課程（医学博士課程）で指導する教員でも現在の指導教員でも結構です。</p>	
推薦書作成者氏名	
研究科専攻名 他大学の場合は、大学名から記載	
申請者との関係	
研究者としての強みと将来性を判断する上で特に参考になると思われる事項	
今後、社会で活躍するため必要と考えている要素	